環境調査　宿毛湾10

令和7年5月27日

宿毛漁業指導所

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大１細胞/ml確認されました。

また、柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水においても、アレキサンドリウム属が藻津で0.06細胞/ml、大島中央で0.01細胞/ml確認されました。当該プランクトンは、主に二枚貝（食用を含む）を毒化させる恐れがある ので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点（透明度/水深）【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度（m）	水温（℃）	塩分	溶存酸素（mg/L）	コクロディニウム・ポリクリコイデス	アレキサンドリウム属
A 藻津（-/36m）【09:09】	0	21.4	32.0	6.9	0	0
	★ 2	21.7	33.6	6.8	0	0
	5	21.2	34.2	6.5	0	0
	10	19.9	34.4	6.9	0	0
	15	19.7	34.4	6.8	-	-
	20	19.6	34.5	6.8	-	-
B 大島中央（-/32.4m）【09:19】	0	21.1	31.3	6.7	0	0
	★ 5	21.4	34.1	6.4	0	0
	10	20.0	34.3	6.7	0	0
	15	19.6	34.4	6.7	-	-
	20	19.4	34.4	6.7	-	-
C 小筑紫中央（-/49.1m）【09:30】	0	21.1	29.8	7.0	0	1
	5	20.3	34.4	6.7	0	0
	★ 10	19.8	34.3	6.9	0	0
	15	19.5	34.4	6.8	-	-
	20	19.4	34.4	6.8	-	-
D 栄喜奥（-/13.1m）【09:48】	0	20.4	19.2	7.4	0	0
	★ 5	21.0	34.2	6.4	0	0
	10	19.8	34.4	6.3	0	0
E ヒロウラ（-/25.5m）【10:08】	0	20.3	19.8	7.5	0	0
	★ 5	21.1	34.2	6.2	0	0
	10	20.0	34.4	6.4	0	0
	15	19.7	34.5	6.5	-	-
	20	19.6	34.5	6.5	-	-
F 青瀬山（-/14.9m）【09:55】	0	20.5	19.5	6.8	0	0
	★ 5	20.9	34.3	6.4	0	0
	10	19.9	34.4	6.3	0	0
	15	19.7	21.5	6.3	-	-

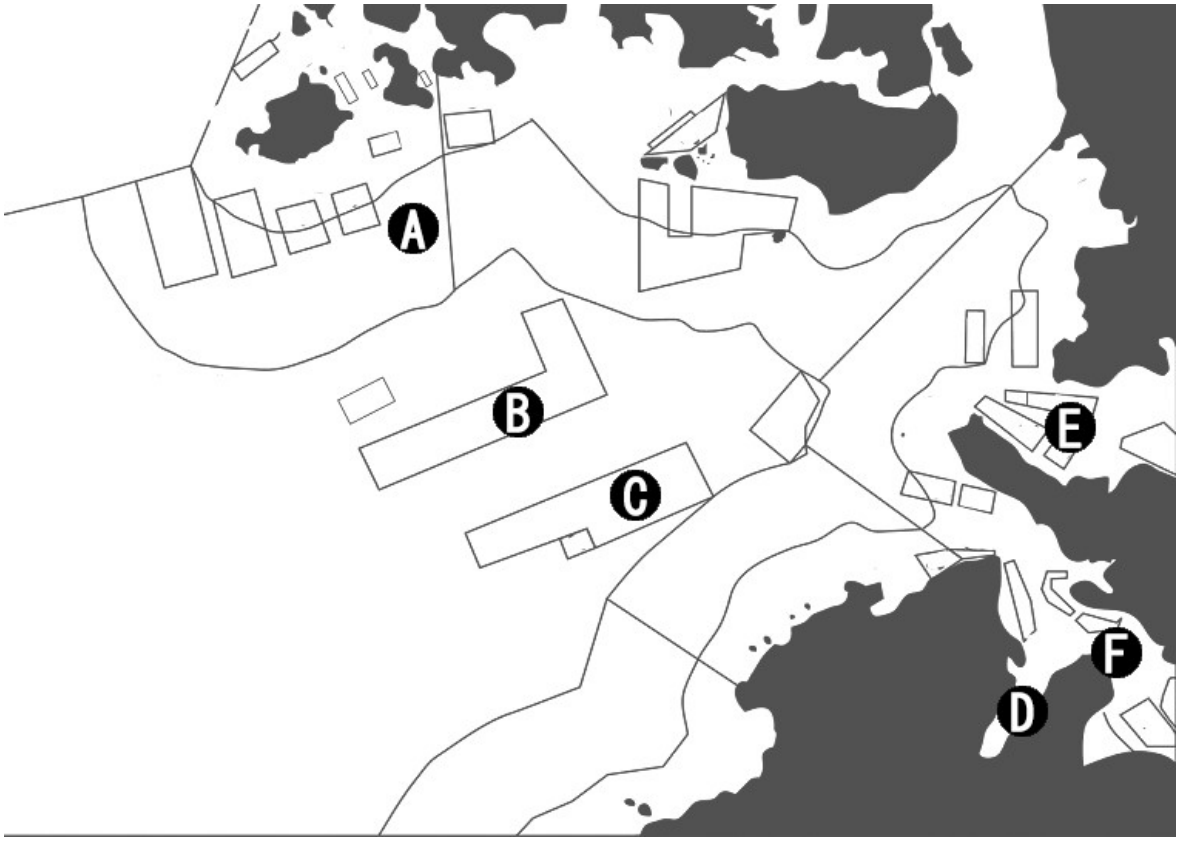
クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。

環境調査　宿毛湾10
令和7年5月27日
宿毛漁業指導所



A: 藻津　　D: 栄喜奥
B: 大島中央　　E: ヒロウラ
C: 小筑紫中央　　F: 青瀬山

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期　※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
Karenia mikimotoi （カレニア・ミキモトイ）	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	―
***Chattonella* spp.** （シャットネラ属）	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	―	―
Cochlodinium polykrikoides （コクロディニウム・ポリクリコイデス）	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	―	2～4月	5～6月
Heterosigma akashiwo （ヘテロシグマ・アカシオ）	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
***Dictyocha* spp.** （ディクチオカ属）	魚類等のへい死	―	5,000 cells/mL	6～7月	4月	―
***Takayama* spp.** （タカヤマ属）	魚類等のへい死	―	10,000 cells/mL	8～9月	―	―
Heterocapsa circularisquama （ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ）	二枚貝のへい死	―	500 cells/mL	8～11月	―	―
***Alexandrium* spp.** （アレキサンドリウム属）	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	―	1～4月	3～5月
Gymnodinium catenatum （ギムノディニウム・カテナータム）	二枚貝の毒化	―	1 cell/mL	―	―	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：**魚類及び二枚貝のへい死** 並びに **二枚貝の毒化**が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。